

と～かんニュース

129号

令和3年10月10日 発行

★久しぶりのと～かんカフェが大賑わい★

～高齢世帯に“観西あじさいネット”で見守り活動～

開店・早々に満席で座れない！！

爽

やかな秋の訪れとともに、新型コロナウイルスの感染防止で途切れていた“と～かんカフェ”が、10/3(日)に再開されました。

当日は10:00のオープンと同時に、待ちかねていた人たちが続々と来場し、会場は久しぶりの再会で賑やかなふれ合いの場になりました。

★ふれ合いでフレイル予防効果！！★

最近、フレイル(不活発病)という言葉がマスコミ等でよくでてきます。これは新型コロナウイルスのまん延防止対策として、政府が街中への“人流防止”の視点から呼びかけをしていますが、もともと人流機会の少ない高齢者が、近隣との交流まで自粛し引きこもり生活になると、運動不足で急速に体力が衰え、フレイル状態になると言われてしています。

“と～かんカフェ”に参加することは、自宅から会場への歩行と交わす会話のひと時が、高齢者にとって一石二鳥のフレイル予防になっています。



観西あじさいネットとは？！

観

西あじさいネットをご存じですか。昔の“向こう三軒両隣の助け合い”で、高齢者の一人・二人暮らし世帯の見守り活動です。

この活動は広島市が推進している「高齢者の見守り活動」で、地域住民が主体となって「高齢者の見守り、支え合い、安心して暮らせる地域づくりを目指した活動」です。

★地域の支え合いで安心のまちづくり★

これから5年後、10年後に少子高齢化が進むと、介護施設でも若い職員がいなくなり、簡単に入所できなくなるかもしれません。

観西あじさいネットは、ご近所の方などがサポーターとなって、日常的な声掛け等をしながら高齢者の見守りをします。

問い合わせ・申し込み先

- ◆城山・五日市観音地域 包括支援センター
- ◆電話番号 082-924-7755

東観音台団地の有価資源回収日は、
毎月の第一、第三土曜日です。

★地域社会のまちづくりを考える★

～救急医療情報「命の宝箱さえき・安心カード」を活用しよう～

緊急時に役立つ“命の宝箱”とは

万 一の時の備えとして、緊急時に必要な情報（かかりつけ病院、持病、常備薬、薬のアレルギー、緊急連絡先…）を、ひとまとめにして、自宅の冷蔵庫（ドアポケット）に保管しておくことで、救急隊や医療機関の活動をスムーズに行えるようにするためのものです。

この命の宝箱の保管場所は、救急隊が迅速に確認できるように「冷蔵庫のドアポケット」に指定されています。

★命の宝箱のセットについて★

「命の宝箱さえきのセット」には、救急医療情報を記入する“安心カード”（A4 版）と『救』の丸いシール3枚がソフトケースに入っています。

- ◆まず救急医療情報を記入
- ◆シールを「玄関扉の内側」「冷蔵庫の扉」「ソフトケース」に貼る。
- ◆救急医療情報を記入した用紙を、ソフトケースに入れる。
- ◆安心カード以外にも「お薬手帳の写し」「保険証の写し」「診察券の写し」も入れておきましょう。



★“命の宝箱”を利用したいときは…★

また詳しいことについて聞きたいときは、地域の民生委員さんか佐伯区役所厚生部支えあい課（☎082-943-9728）にお問い合わせください。（または、下のURLをクリック）

<http://saekiku.city.hiroshima.med.or.jp/comm/on/images/takarabako.pdf>

サポートクラブの活動に視線！

広島市は、昨年実施した町内会・自治会の調査の結果を受け「地域コミュニティ活性化に関する懇談会」を開催しています。

この中で地域コミュニティの活性化への取り組みについて、地域団体の活動事例として町内会支援の活動モデルとして“と〜かんサポートクラブ”が紹介されました。

街角トピックス

東観音台団地にお住まいの多田チャニントンさんが、新聞（9/10 朝日新聞）で大きく報道されていました。

報道によると、多田チャニントンさんはタイ国の出身で、1998年から平和文化センターの評議員を務めるかわら、被爆者団体や大学教授らとの会議に参加したり、海外への被爆体験講話や留学生の平和学習サポートに取り組んでおられます。

と〜かんニュース

- ★企画・編集：と〜かんサポートクラブ 広報部会
- ★発行者：高田 稔（☎922-5844）
- ★文責：中倉 勇（☎922-4320）
- ★ホームページ：こむねっとひろしま



東観音台の情報は
ここをチェック⇒

このQRコードを読み取ってください



<https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/toukan/>